

船橋 YMCA 通信



No.35 2007年3月1日

編集 千葉YMCA船橋地域デポ運営委員会 発行人 榎 一光
〒273-0825 船橋市夏見6-6-6 日本基督教団船橋教会内
電話：(047)425-6366 F A X：(043)222-5061



千葉YMCA創立35周年

2月12日(月)に日本基督教団西千葉教会で千葉YMCAの創立35周年感謝礼拝が行われました。

この記念行事には、千葉YMCAの第2代総主事である羽鳥直之氏も出席され、設立当時のボランティアリーダーであった佐藤哲氏や榎と何十年ぶりの再会を喜び合いました。



《感謝礼拝は岸牧師の司式のもと執り行われました》

また、千葉YMCAが軽度発達障がい児支援事業を始めて10周年にもあたり、東京学芸大学教授・日本LD学会会長の上野一彦先生を講師にお招きして「軽度発達障がい児へのライフサポートの在り

方」と題する講演会も行われました。

上野先生は、この講演を「障害は理解と支援を必要とする個性である」と述べて終わられました。LDはLearning Disabilityの略で、学習障がいとか学習困難とか理解されてきたが、今や学習の仕方が違うLearning Differencesと、とらえるほうが正確であるとの見解が示されました。



《上野先生の講演会の様子です》

千葉YMCAは、神戸YMCAに続き早い時期からこの支援事業に取り組み、実績を重ねてきました。今後もこの取り組みは千葉センターと柏センターで継続して行います。さらに、中学校を卒業した障がいを持つ子ども達を受け入れる通信制のYMCA学院高等学校も今年の4月から千葉センターで開校します。



《千葉YMCA35周年記念撮影です。中央で花束を持っているのが現総主事の三橋氏でその右側が羽鳥氏》

行田東小の第2回車いす、高齢者・視覚障がい擬似体験教室

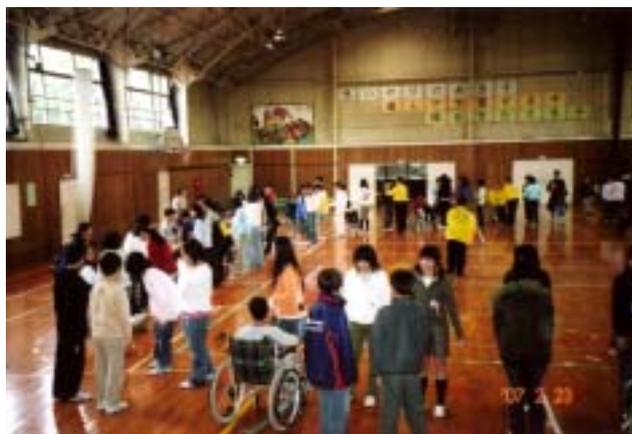
昨年の11月2日に3年生を対象に「車いす、高齢者・視覚障がい擬似体験教室」を開いた船橋市立行田東小学校(船橋市行田2-4-1)で、2月23日(金)に今度は6年生を対象に同じ催しが開かれました。

対象は6年生全員(111名)で、参加したボランティアは、船橋市障害者友の会5名、車いすダンスグループ矢車草5名、社会福祉協議会3名、YMCA3名の合計16名でした。



《段差のあるところを車いすで越える体験です》

皆それぞれの体験に真剣に取り組み、充実した楽しい時間を過ごす事が出来ました。最後の全員による車いすダンスは、車いすダンスグループ矢車草の大懸さんの指導で、高学年のためか照れながら、しかし楽しく踊りました。



《全員で車いすダンスをしました》

1月のわんぱくクラブ

わんぱくクラブは、月に1回の自然体験活動プログラムです。1月例会の報告です。

1月の活動は、稲毛にある浅間神社に行き日本の伝統を学び、一年間の幸せを願いました。浅間神社には多くの社があり子ども達は、「あっ！今度は健康に関する社だ！」といろいろなお願い事をし、日本の伝統に触れることができました。

また、午後は千葉市にある生涯学習センターで自分達オリジナルのおみくじ作りをして子ども達それぞれの目標やお願い事を書きました。

飯海 優(わっしょいリーダー)



《なんで手をあらうのかな?》

船橋YMCA活動記録

船橋YMCAの1月、2月の活動記録です。

- ・1月13日(土)そらまめクラブ「あおぞら」
内容：透明パックで動く竜を作ろう
参加者：7名、リーダー2名参加
- ・1月13日(土)船橋地域デポ運営委員会
- ・1月21日(日)わんぱくクラブ1月例会
場所：稲毛浅間神社と千葉市生涯学習センター
内容：日本の伝統文化を学ぼう
参加人数：10名、リーダー4名
- ・2月10日(土)そらまめクラブ「あおぞら」
内容：ゴムで動く車を作ろう
参加者：5名、リーダー1名参加
- ・2月18日(日)わんぱくクラブ2月例会
場所：浦安市郷土博物館
内容：気付いていこう～やさしさ、メリハリ
関わり～
参加人数：10名、リーダー4名

編集後記

車いす体験教室は、障がいを持つ方々の社会参加の機会でもあり、今後も続けていきます。(横)